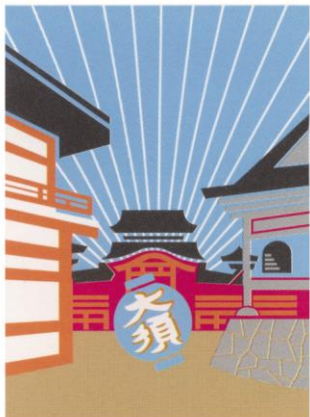


承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 鬼頭茂成 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 岡村隆徳 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org



第1415回例会

出席奨励月間(地区)

平成25年6月6日(木)

名古屋地区6合唱団連合会

東日本大震災

チャリティコンサート2013

於 日本特殊陶業市民会館

グロッシホール

会員 64名

出席計算数

64名中 64名出席

出席率 100%

前々回出席率 91.38%

例年プログラム

★東日本大震災

チャリティコンサート2013

ゲスト

受人青少年交換学生

キャサリン・ワームス

プログラム(敬称略)

第一部

◆名古屋名門RC合唱団

名古屋地区ロータリークラブ
合唱団連合会 会長 盛田和昭

・真赤な太陽

・逢えてよかったね

指揮/友森美文

ピアノ/古山 緑

◆メール・アカンターレ(名古屋東南RC)

指揮/熊谷多津旺

ピアノ/熊谷美鶴子

・鏡形平次

・ああ人生に涙あり

◆コール・カメラリア(名古屋名駅RC)

指揮/水谷弥生

ピアノ/中村愛子

・坊かてる讃歌 Standalone

・希望の島(のぞみのしま)

◆コール・スイーツ(あまRC)

指揮/富田 由子

ピアノ/野田佳子

・ラバース・コンチエルト

・きみに会えて

・夕なごの海

◆オオスシンガーズ

(名古屋大須RC)

指揮/井原義則

ピアノ/岡戸弘美

・いざ起て戦人よ

・I'm yours

・四葉のよの

◆コール・ロータリー名古屋

(第760地区15RC)

指揮/加藤典子

ピアノ/中村愛子

・フィンランディア

・ナツコ

◆井原 義則

(テノール)

ピアノ/岡戸弘美

・ふんわり

・母

・ほろおき

・よかた

◆末吉 利行

(バリトン)



◆オペラ「Lenozzedi Fiarro」

イカロの結婚のFiarro Granja

Sevoulballare...

(ではお嬢様、タンをなやませな...)

・昨日のロマンス

・木鬼

◆喜音 夕子

(メソソフランド)

ピアノ/都築彩子

・かもめ

◆義援金の贈呈

盛田会長より

「あしなが育英会へ

全賛合唱 故郷

会場の皆様と共に



名古屋地区RC合唱団連合会

チャリティコンサート2013

名古屋地区RC合唱団連合会

総務 鬼頭 茂成

5月9日(木) 例会変更で、東

日本大震災チャリティコンサート

2013を日本特殊陶業市民会館

レジデンスホールで開催しました。

照井菜さんの司会で開会となり、

盛田和昭連合会会長が「昨今のコ

ンサートはよくチャリティを謳っ

ていますが、私たちが行っている

このコンサートは、震災が起っ

たその年の6月から始めました。

今年でもう3回目となり、震災復

興支援のチャリティコンサートの

先駆けでありました。ロータリア

ンを始め多くの皆様からの義援金

の合計は139万1500円となり
ました。全額をあしなが育英会に
寄付しました。今年も今日の義援
金を合わせて全額を「寄附いたし
ます。」と挨拶されました。

演奏会は第一部が、名古屋名南
RCC混声合唱団(名古屋東南RC)、
メール・アカンターレ(名古屋東南
RC)、コール・カメラリア(名古屋名
駅RC)、コール・スイーツ(あまR
C)、オオスシンガーズ(名古屋大須
RC)、コール・ロータリー名古屋
(地区内15RC)の6合唱団が合唱
を演奏しました。第二部は協力音
楽家の演奏で、井原義則さん(テノ
ール)、末吉利行さん(バリトン)、夏
目久子さん(メソソフランド)の素晴
らしい歌唱を聴かせて頂きました。
その後、あしなが育英会の川原
秀登君に盛田会長から義援金の目
録を贈呈しました。川原君が、自
身の親を亡くした者の想いを語り
れました。そして、義援金の使い
方についての説明をされ、「大変感
謝しています。これからも長期的
な支援をお願いします。」と挨拶さ
れました。
最後に出
演者、来
場者全員
で「ふる
さと」を
歌って閉
会となり
ました。



集まった義援金は71万5千460円。全額を5月13日にあしが育英会に送金しました。皆さんの協力ありがとうございました。

地区協議会報告(4月18日例会)

次年度国際奉仕委員長

柴岡 正将さん



94年に入会させていただき20年目の来年度、入会時に国際奉仕を承り、都合の回りの国際奉仕を担当させていただくつもりになりました。

入会当時の国際奉仕は、青少年交換と、世界大会参加を義務づけられたかのように活動しておりました。青少年交換活動も、大須の国際奉仕と新世代が中心で地区の留学生を集めて研修会を月に1回づつ行い、発表の場を中区の小学校に求めていく活動でした。いつからかその伝統もなへ、地区も変わる中で今日を迎えております。また、ブラジルの世界大会が遠いところ、毎年の行事だった大須クラブで世界大会に出かけることもなくなりました。そんな中

で久しぶりに、次年度は30周年の行事でネパールの社会奉仕もあり、国際奉仕もごもごの幹事予定者からの要請でお受けした次第であります。

クラブとしての方向性は、多少つかめたと地区は、と考ええ地区協議会に望みましたが、田中フナーエレクトの地区のスリム化という方針の中で社会奉仕、RCC、環境保全との合同分科会であり、国際奉仕は、どちらかというと往年の国際奉仕でなく一枚のCDを配布され、その中身の説明に終始された会でした。次期地区委員長の佐藤さんが華やかな国際奉仕といわれましたものの時代の流れを感じるさびしい会合でありました。

ただいえることは、青少年交換は、新世代へ移行し、WCS活動もR1としては廃止、一部をグローバル補助金としての扱いであり、従来の国際奉仕でなく、JAIRCとの協力体制や、米山留学生との協力で新しい国際交流をクラブ単位で見つけ活動していくことや、姉妹クラブの活動など、クラブ単位にゆだねられる形となっていくことは間違いないようであり、そういう方向性の中で次年度30周年の1環としてネパールの奉仕事業をやり遂げることは、大須の活動として生きるものであると確信し、まい進するものであります。

地区協議会報告(4月18日例会)

次年度新世代奉仕委員長

林 順治さん



先口行われました地区協議会のご報告をさせて頂きまず、新世代奉仕の下、インターアクト・ローターアクト・RYLA・青少年交換の4つの分野、合同で分科会を行いました。

テーマは「新世代奉仕活動・理念の実践とその課題解決に向けて」パートⅢでした。本年度は「新世代奉仕活動の理念」を受けて「青少年健全育成プログラム」の基本理念・原則に沿った、実践活動を展開する3年目であります。そこで以下を切望されました。

- ①「活動の基本に返る事の大切さ」を認識し、従来通りの活動・事業であっても、常にその目的・思いを理解した上での実践活動となること。
- ②新世代の活動を通して「青少年達と時間と空間を共有し、ローターアクトが人生の先輩として望

ましい手本となる」ため、指導力を最大限に発揮されること。

そして新世代奉仕関連の4委員会(インターアクト・ローターアクト・RYLA・青少年交換)が、実践する「青少年健全育成プログラム」の目的・活動・課題を理解し合い、地区内82RCCへ適切な情報発信ができ、課題解決に繋がる様に、新世代月間にはローターファミリーも交えた「地区新世代サミット」を前年に引き続き開催し、地区新世代奉仕関連委員会の活動内容の地区内への広報活動の一助としたい。今までバラバラだった地区新世代奉仕関連の4委員会や地区新世代のローターファミリーを上手く結びつけていくのも、地区新世代奉仕委員会の役目であること強く認識されております。特に、本年からは相互交流を継続的に実施出来る仕組みを、構築していきたいとも考えております。

82RCCの新世代奉仕活動の抱える課題について地区全体で共有し、戦略的に中長期計画に沿って、課題解決に繋げていくということとです。要するに「関係者みんなで助け合って課題を共有し、もう一度基本に戻り、目的・意味を考えて奉仕活動を行って下さい」という事だと私は感じました。ご清聴ありがとうございました。

5月23日(木)例会の案内

卓話

「60年目のチカラ」

中部日本放送株式会社

取締役副社長 塩原 実さん

紹介者 田崎 雅三さん

広報委員会

近藤宏一郎・林 富徳
杉浦 令淑・青木 靖高

*本文は、原則、頂いた原稿を転載いたします。

於 マージャンサロン 東天光



第20回麻雀例会

平成25年4月18日(木)

第20回例会優勝者
柴岡 正将さん

麻雀同好会は入会金はありません。当日参加料7,000円です。ただいま新会員募集中です。是非ご入会のほど宜しくお願い致します!